

令和6年度 第2回鯖江市行政評価委員会 会議録（要旨）

日時：令和6年12月9日（月）

19：00～20：10

会場：市役所4階第1委員会室

出席者：井上委員長、八木副委員長、岩堀委員、上坂委員、吉村委員

鯖江市：こどもまんなか課 仲倉課長、鷺田参事、児玉主事

健康づくり課 松田課長、山岸参事、山神主事

事務局：行政管理課 峰田課長、小谷課長補佐、橋本主査

1 開会

2 外部評価実施

① 出合い交流サポート事業（所管：こどもまんなか課）（18：55～19：35）

<概要説明>（仲倉課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

委員：半額助成はどういう形で周知させているか。アプリの紹介も含めて。

所管課：広報さばえやホームページ等で年3回、掲載し、また結婚相談の窓口で周知している。

委員長：県のマッチングシステムと並行して協議会があると思うが、棲み分けは。

所管課：婦人福祉協議会の結婚相談は、対面で相談業務を行う。また、アプリは個人で、婦人福祉協議会の結婚相談では家族で行うことができる。

委員長：どちらも必要だからか。なぜ1本化できないのか、アプリは家族はタッチできないのか。

所管課：マッチングシステムはアプリなので、親が直接というのでは難しい。

委員長：あんまりうまいとは思えない。システムが違うから別のことをやる必要はないように思う。

所管課：アプリはAIが紹介するか自分で探しに行くか。婦人福祉協議会の結婚相談は親御さんが相談に行く場合も多い。協議会でアプリの紹介はしている。

委員：鯖江市の状況を見ると、相談件数に対して、成婚件数0.3%と低い。今後も同じような方針でやるのか、改善する方向性か。

所管課：もともと女性の登録が少ないのが課題と考えていて、増やすために福井県結婚応援コンシェルジュと相談はしている。県の結婚応援は少しずつ増えてはいるようだが、まだ同じ状況かと思う。

委員：このやり方で助成をしていくのはどうなのかという議論は出ていないのか。

所管課：成婚件数というのは、報告を受けた件数で実際より少なくはあると思う。

委員：それでも10倍もなく、1%以下の世界だろう。

所管課：別の事業では、去年から高校生に向けて、若いうちからライフデザインを考えてもらう授業を行っていたり、赤ちゃんを抱っこしてもらうふれあい体験を行っている。

委員：承知した。未婚率の低減という目的が達成できているのか気になった。

委員：アプリと婦人福祉協議会の2つしか補助はなく、異なる支援はないのか。ほかに支援できる団体もあると思うが。

所管課：今、個人的に縁結びさんは聞いているが、組織的、定期的に活動しているのは婦人福祉協議会のみしか把握していない。

委員：常時ではないが福井ブライダル協会がマッチングのサポートをしている。アプリは苦手でも、違うものなら参加しようという女性もいると思う。

委員：西山公園で結婚式をやっていたり、低価格で式を挙げてもらったり、さまざまな活動をしている団体はある。

委員：利用者は、民間のアプリは怖くて県のアプリを使っているのか、いろいろと使っているのか、肌感は。

所管課：県のアプリは本人確認がしっかりしていて、安心感や信用はあると聞いているが民間との並行もしているのではないかと思う。

委員：女性が少ない原因を仮説でも持っているか。

所管課：男性に比べて、もともと女性の結婚適齢期の女性の数が少ないこと。結婚したくないというわけではないと思うが、登録まで気持ちがいかないこと。気軽な気持ちでも参加していい、というイベントだと多く参加してもらえたと聞くが、結婚と聞くと気軽に登録ができないのではないかと考えている。

委員：婚姻に関心がある年齢層について、未婚率の低減に関する情報がないと評価できないのでデータがあるといい。「機運の醸成」を事業の目的にしたらどうか。事業目的を検討する余地があるのでは。相談件数は増えているので、「機運の醸成」という目的であれば結果は出ている。

所管課：未婚率は国勢調査のデータをもとにしているので、5年に1回しか取れない。直近は令和2年。

委員長：この事業だけで未婚率が増減するとも思えない。所得状況などの影響もある。1年で成婚も少ないので、未婚率を目的にしなくてもいいのでは。県全体で、結婚の機運醸成のほうが目적으로して合うのかなと思う。

委員長：出会い交流サポートでやっていた市民主役の事業はもう終わっただろうが、婦人福祉協議会の事業はいつから委託していたのか。

所管課：婦人福祉協議会への結婚相談は以前から。市民主役事業は大きいイベントをしても成婚率が上がらず、コロナもあったので、アプリに移行した。

委員長：出張登録会や、フレンドリーの集いは増やさないのか。

所管課：出張登録会は県のコンシェルジュが行う。

委員長：以前のモノづくり体験は参加者が多かったと思うが、コロナ前だったからか。

所管課：イベントによる。おいしい食事がついてくると参加者が多い傾向がある。

<方向性判断>

委員長：見直すべき意見はなかったもので、方向性は維持でよいと思うがいかがか。（委員一致）
意見をまとめると、

成婚率の相場はわからないが、ハードルは高いと感じる。

数字を追いかけることは大事。

成婚率やお見合い率を追いかける必要がある。

向上に向けた対策を委託先と検討する必要がある。

プライダル協会など、関係団体は複数あるので、予算措置を取るかは別として連携を取る必要がある。

女性の参加を促す対策が必要である。

未婚率というより、結婚への機運醸成がこの事業の目的にふさわしいので目標も変えたほうがいい。

② 健康増進事業（所管：健康づくり課）（19：35～20：05）

<概要説明>（松田課長）

◆事務事業調書および補足資料に基づき概要説明

<質疑応答>

委員長：7つに絞ったという点について、絞った理由、背景は？

所管課：国の方でも評価指標として目標設定をしており、また、生活習慣病の予防に関してさまざまな啓発があるが、日頃の生活の中で取り組みやすいものに絞った。

委員長：動画でも啓発しているか？

所管課：現在、アイコン・ポスターを作成して普及啓発を考えている

委員：健康づくり推進員は推薦することが区長の負担になっている。町内でなり手がいない。名前だけ借りている町内もある。会議に出てこないなど、活動意識が低いことは感じるか？

所管課：なり手がいないとか、何もしなくていいと言われてなってもらった方も多いと聞いている。健康づくり推進員は愛育会を兼ねている町内がほとんど。愛育会という組織は昭和50年代から全地区に配置されており、歴史ある活動となっている。なり手不足は課題ではあるが、町内ごとにルールがあって、スムーズに決まるところもあると聞いている。2年任期となっているが、1年で交代することも、市としてはよ

しとしている。

委員：できれば人探しのサポートもしていただけるとありがたい。

委員長：地区で担っている委員は多いのか。

委員：いろんな役割のなり手不足が問題になっている。健康づくり推進員は、一般の方に、活動内容が知られておらずお願いしにくい。なので、活動を広めていくと、どんな事業かわかって、なり手になってくれるかもしれない。

委員長：どういう形で人々に働きかけるのかという棲み分けもあるだろう。

市として、推進員にはどのような方をターゲットに啓発してもらいたいのか。また、市がすでに啓発を行っているものについて健康づくり推進員にやってもらうという考え方は見直しが必要かと思う。

委員長：健康増進に関しては、市民団体とのつながりは？

所管課：委嘱している団体には、食生活改善推進員もあり、団体を組織している。

NPOの「みるみえる」は、提案型市民主役事業として目の健康に取り組んでいる。

委員長：生活習慣病に関しては？

所管課：特化した団体はなく、生活習慣病対策となると、健康づくり推進員や食生活改善推進員になる。

<方向性判断>

委員長：今年も来年も続けて事務改善に取り組んでいる。前向きな姿勢だと受け止めている。改善の意見もないので、異議はないと思う。（委員一致）
意見をまとめると、推進員について、市民との協業、協力関係を深めてほしい。また、今後とも改善を継続してほしい。

委員：目の体操の取り組み、目の「みるみえる」など、評判がいい。
デザイン思考のポスターも楽しみにしている。

3 閉会（20：05～20：10）

<各委員から一言>

岩堀委員：初めて行政評価委員会に参加した。総合戦略に基づき細かく事業を行っていることを知った。なるべく意味のある事業にしたいと思い、意見させていただいた。

上坂委員：市民のことを考えて仕事をしていることを実感できてありがたいと思う。

八木委員：初めて行政評価委員会に参加した。区長会連合会の副会長なので、一般の方よりは知っているつもりだったが、まだ知らない事業も多くあった。市民はもっと事業を知らないと思う。市民への周知も大事だと感じた。

吉村委員：皆さんの質問をきいて、視点、考え方に気づきを得た。市役所の事業の見方など参考になった。他部署との連携、つながりも見えた点はよかったと感じる。

井上委員長：行政評価の取り組みを続けるとともに、市民自らが直に評価することが大事。第

三者評価はその一部。市には、評価してもらう取り組みを続けてほしい。市民も、享受しているさまざまな事業を評価し、意見してほしい。12月23日の市長報告にて皆さんの意見をすべて報告したい。

<市長への報告について>

井上委員長、八木副委員長兩名にて市長へ報告書提出

日時：令和6年12月23日（月）15：30～